

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	豪雨と暴風をもたらす台風の力学的・熱力学的・雲物理学的構造の量的解析
研究代表者	坪木 和久（名古屋大学・宇宙地球環境研究所・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、台風の強度や進路予測を、航空機観測と最先端の雲解像モデルを組み合わせて、その高精度化と予測の確実性を高め、台風災害の軽減を図ろうとする重要な研究である。台風の予測精度の向上は、付随する暴風や豪雨による災害の軽減につながり、国民全体の安心安全に資する意義深い研究であり、学術的にも国際的な視野で推進すべき課題である。研究計画も十分練られており、これまでの評価の高い研究業績に裏付けされた研究成果が期待できる。一部、適切なゾンデの選択や悪天候下でのドローンの利用可能性など懸念点もあったが、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>